

自第一號（令和二年六月）  
至第四號（令和三年三月）

# 東洋史研究

第七十九卷 總目次

東洋史研究會

|   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|
| 近代的衛生行政體制と「地方自治」のはざま——世紀轉換期の香港における潔淨局をめぐる議論—— | 小堀 慎悟 | 一 | (一)   |
| 「父子同氣」概念の成立時期について——「中國家族法の原理」再考——             | 佐々木 愛 | 一 | (三五)  |
| 聖人はすべてを豫見できるか——江水の天文學における八線表(三角關數表)と西學中源説——   | 田中 有紀 | 一 | (七五)  |
| 財政史よりみた一九世紀後半における阮朝統治の再検討                     | 多賀 良寛 | 一 | (一〇八) |
| 清朝前期における江寧の旗・民關係——滿漢合璧『永禁找贖雜差碑』をめぐる——         | 葉 勝   | 二 | (三七〇) |
| 王珪之『齊職儀』の編纂をめぐる——                             | 佐藤 達郎 | 二 | (二七九) |
| 金代前期の幣制                                       | 宮澤 知之 | 二 | (二〇五) |
| 傳石之珩撰『南漢日記』と李道長撰『承政院日記』——丙子の亂關係史料の基礎的検討——     | 鈴木 開  | 二 | (三三六) |
| 一九一〇年代の朝鮮における新文館の兒童雜誌——日本の兒童文學界と崔南善——         | 田中 美佳 | 二 | (二七七) |
| 「前四史」夷狄列傳に見える四夷觀念の展開                          | 三津間弘彦 | 三 | (二七七) |
| 「漢化政策」來源考                                     | 堀内 淳一 | 三 | (四〇九) |
| 唐末五代變革期の幽州盧龍軍節度使——沙陀・契丹との關係から——               | 新見まどか | 三 | (四四三) |
| 長崎輸出の金襴手古伊万里の生産と流通について                        | 野上 建紀 | 三 | (四六六) |
| 秦漢代における佐史の變遷について                              | 西 眞輝  | 四 | (五九)  |
| 長江下流低濕地における水生植物利用の變遷史                         | 大川 裕子 | 四 | (五七)  |
| 「サキヤパ時代」から「バクモドゥパ時代」へ                         | 山本 明志 | 四 | (六六)  |

——チベット語典籍史料における記述の變遷をめぐる——

16世紀後半のイスタンブルにおける飲酒行為と「禁酒令」……………澤井 一彰 四 (六六)

書 評

岩本佳子著『帝國と遊牧民——近世オスマン朝の視座より』……………多田 守 一 (四四)

岩本眞利繪著『明代の専制政治』……………新田 元規 一 (一五七)

矢木毅著『朝鮮朝刑罰制度の研究』……………キム・ハンバク 二 (三三三)

近 刊 叢 欄

一 (一七三) 二 (三三四) 三 (四七九) 四 (五六七)

大 會 抄 録

唐宋における臺參制度の展開……………小野木 聰 三 (四七三)

里から里・丘へ——秦漢から三國吳にかけての居民管理制度の變遷——……………鷲尾 祐子 三 (四七三)

宗教から見る香港社會——キリスト教を中心に——……………倉田 明子 三 (四七四)

マシユハド・レザ―廟圖書館所藏のアラビア語文書集成について……………伊藤 隆郎 三 (四七四)

イランにおける舊王家祖廟存續の試み——一八、一九世紀のシェイフ・サファイーリアッディーン廟——……………阿部 尙史 三 (四七五)

中村屋の林圭——三・一獨立運動の國際的ネットワーク——……………小野 容照 三 (四七六)

金國の祭天儀禮と祖先祭祀……………古松 崇志 三 (四七六)

北元から清へ——清朝の外藩統治形成の歴史的経緯——……………岡 洋樹 三 (四七七)

憲章時代(一〇〜一四世紀) 大越Ⅱ安南國家の中華世界への自己定位……………桃木 至朗 三 (四七七)